

## 展示ホールに関する意見

### 【可動壁】

#### 意見の概要

可動壁が重く動かすのが大変という、現在の展示における施設の課題を踏まえ、利用者が利用しやすくなるよう検討をするべき。

- ・ 利用頻度は高いが、重くて動かすのが大変。レールで吊るされているため可動範囲が限られており、どうしてもガラス壁と可動壁との間にデッドスペースが出来てしまうが、吊る構造上しようがない。
- ・ 可動壁をどう使うかはある程度パターンがあるので、利用者にも設置パターンを示してあげると良い。
- ・ 可動壁は天井の高さにより重さが変わってくる。展示ホールは天井が高いので可動壁一枚が重くなっている。可動壁の幅でも重さは変わるが、幅を小さくすると壁と壁の間のつなぎ目が増えるなど展示に影響してくる。絵画を吊るせる壁の強度を確保するためにはあの厚さ、重さが必要になる。
- ・ プロの方に依頼しないと、作品を吊るしたりライトを設置したりということは難しい。改修等をするときは、だれでもパネルを移動できることを前提に検討してはどうか。
- ・ 天井を低くすることで可動壁を小さくするという考えもあるが、書道などの作品展示を考慮すると4メートルくらいの天井高は必要になる。

### 【動線】

#### 意見の概要

展示期間中に、大ホール等の鑑賞者が北側駐車場の展示ホール入口から入って展示ホールを通り抜ける状況があり、現在の動線は好ましくない。

- ・ 展示ホール側に駐車場があるので、大ホールや小ホールの客が中国電力側まで回らずに、展示ホールを抜けて入ってくる動線になっている。展示ホールに入り、作品を見ずに通過する状況が見受けられるので、展示ホールでの展示の際は好ましいことではない。

## 【搬出入口】

### 意見の概要

小ホール側からの搬出入は大変であり、展示ホールに搬出入口は必要である。

- ・ 駐車場からの客の動線は別として、展示ホールに搬出入口は必要。小ホール側からの搬出入は大変。

## 【用途】

### 意見の概要

展示ホール単独での利用のみではなく、大ホールの付随施設としても利用できるよう機能を検討してはどうか。

- ・ 大ホールを使用する方のサブスペースのような用途としても使い勝手の良い施設を考えてはどうか。リハーサル会場や荷物置き場など大ホールに付随した機能が展示ホールにあったほうが良いのであれば検討してはどうか。

## 【必要性と規模】

### 意見の概要

- ・ 市民が手ごろな期間で、手ごろな経費で展示発表できる場を確保し、自身の活動の励みにつながるホールとするため、ニーズも把握したうえで検討すべき。
- ・ 今くらいのホールが3つくらいあれば、企画の規模で2つ、3つ使うという使い方や、一部を大ホールの控室として使うことも可能となるなど、展示ホールの利便性が高まるのではないか。

- ・ 昔は大ホール前の通路で展示をしていたが、ガラス張りということもあり環境はよくなかった。展示できる場所があるということは大変大事なこと。

- ・ 山口市には市立の美術館がないので、今、美術展示室として使われているニーズがどのくらいあるのかを把握し、今後どうしていくのかということもあわせて考えたほうが良い。
- ・ 今くらいのホールが3つくらいあって、規模によりこのイベントでは2つ使う、3つ使うという使い方が出来たらよいのでは。そうすれば、大ホールの付属施設として展示ホールを使うとしても、全部が使えないということは減るのではないか。
- ・ あまり立派にすると多くの鑑賞者を呼び込める企画での利用が長期間入るなどして、気軽に2、3日間展示をしたい市民の利用が制限されてしまうという弊害も起こりうる。
- ・ 市民会館は市民の方が手ごろな期間で、手ごろな経費で展示発表する場を確保するという考え方でいてほしい。美術館で行うレベルの展覧会とかはあまり想定せず、市民が展示をして次の活動への励みとする、それを市民が見に来て作家と市民との交流が生まれるような場となるよう考えるのが良い。
- ・ 現在の展示ホールは「展示もできるホール」といったものであり、利用者が工夫しながら使っているが、本来はその工夫をしなくて使えるものがあれば良い。